

「薬物乱用防止」に 全力を挙げて取り組みます

薬物乱用防止に関する決議を全会一致で可決

今日、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物乱用は、世界的な広がりを見せています。

人間の生命はもとより、社会や国の安全・安定を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つになっており、10代20代の若年層における大麻乱用の広がりも懸念されています。

また、令和元年10月に現職の議員であった者が、大麻取締法違反で逮捕、有罪判決を受けた事件を、町議会議員一人ひとりが重く受け止め、再び信頼を損ねることのないよう改めて自らを厳しく律し、全力で信頼回復に努めます。

そこで、町議会は、「薬物乱用は絶対にしない・させない・許さない」という強い意志を示し、薬物乱用の防止を強く呼びかけ、関係機関等と一丸となって薬物乱

用防止に向け全力を挙げて取り組むことを宣言した決議文を全会一致で可決しました。

提出者

飛賀 貴夫

賛成者

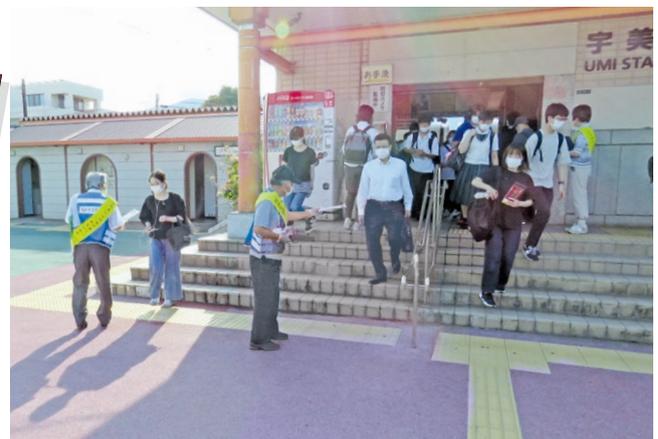
白水 英至
脇田 義政
黒川 悟
吉原 秀信
藤木 泰



街頭啓発で薬物乱用防止を呼びかけました

宇美町議会では、薬物乱用防止の啓発の取組として、「社会を明るくする運動強調月間」の街頭啓発に参加しました。

7月1日午前7時からJR宇美駅前で行った街頭啓発では、社会を明るくする運動のリーフレットと併せて福岡県薬物乱用対策推進本部のリーフレットなどを配布しました。



当日配布したリーフレット

街頭啓発の様子